市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

突進してくるイノシシを飛び上がって避ける市職員

まさしく猪突猛進を地で行く突進

昭代地区（古賀）でイノシシを捕獲

11月3日の午前8時ごろ、イノシシがいるとの通報が柳川警察署にあり、警察官と市の職員が捕獲作業をしました。イノシシが出没した南浜武や古賀では、パトカーが外出を控えるよう呼びかけ緊張に包まれました。午前10時ごろイノシシが車庫に逃げ込むと、警察官らが犬の捕獲機に追い込み捕獲成功。捕獲されたのは2歳くらいのメスで体長約80㎝、体重約40㎏。野生のイノシシとみられますが、なぜいたのかは不明です。ほかにもいる可能性も否定できず、もしイノシシと遭遇したら興奮させないようにし、市や警察に連絡してください。

甲冑姿の宗茂もおもてなし

愛嬌挨拶　柳川めぐり

秋の柳川のまち歩きを楽しんでもらおうと、「愛嬌挨拶（えいぎょうあいさつ）　柳川めぐり」が10月15日から28日まで行われました。愛嬌挨拶は浪人していた立花宗茂が、赤飯となますでもてなされた故事にちなんだ柳川の伝統行事です。28日は柳川商店街の店舗などで、観光客や買い物客に赤飯となますが振る舞われました。辻町商店街では、会員が1月半かけてダンボールと布で宗茂が愛用した甲冑（かっちゅう）を作成。会員が身に着け辻町の広場に立つと、物珍しげに立ち寄る人や記念撮影をする人もいました。

宗茂の甲冑はダンボールとは思えないほどの出来栄え

三島神社の下宮で稚児が舞を奉納した

地域住民が秋の収穫に感謝

三島神社「秋祭り」

10月28日、西蒲池の三島神社で秋祭りが催されました。同祭りは本村、野田地区の住民が毎年開催。秋の収穫に感謝するもので、約800年前から続いているといわれています。同神社拝殿では神事に続き、紫色を基調とした装束に身を包んだ4人の稚児が扇舞を奉納。その後、西に約500m離れた同神社下宮（しものみや）まで、白装束の住民や稚児、みこしなどが隊列を組んで御神幸行列を行いました。下宮でも神事と稚児舞が奉納され、収穫されたばかりの米などをお供えし、秋の恵みに感謝しました。

芝生に描かれたパンダを見る豊原幼稚園の園児たち

芝生のパンダに園児も大喜び

豊原の民家で芝生アート

豊原の江口悟さんが自宅の庭に芝生でパンダを描きました。このパンダは、芝生アートをテレビで見た江口さんが、神奈川県に住む孫を喜ばせようと行ったもの。顔の輪郭や目、鼻を残して芝を刈り込み完成させました。江口さんはたくさんの子どもたちに喜んでもらおうと、近くの豊原幼稚園の年少の園児15人を招待。園児らは園長先生や職員に抱きかかえられてパンダを見ると「かわいい」「パンダ～」と歓声を上げていました。

地域のみんなの前で発表したよ

垂見小学校で「垂見まつり」

11月4日、垂見小学校は同校の体育館で「垂見まつり」を開きました。これは、児童が学校で学んだ国語や音楽を発表する場として毎年開催。会場には、児童の発表を楽しみにした保護者や校区の人たちなど約200人が集まりました。児童たちは、学年ごとに分かれて元気な合唱やかわいい音読劇などを披露。最後は、全校児童158人で北原白秋作詩の「おまつり」を読み上げ、「ワッショイ、ワッショイ」と元気な声を会場に響かせました。

ネズミの3兄弟の日常を音読劇で演じる1年生

俳句

今月の入選作品・課題「秋簾（あきすだれ）」「紅葉」

渓流の音も紅葉に染りゐし　古賀幸子（横山町）

川下る水に写りし秋簾　古賀治美（南浜武）
多良岳を右に雲仙紅葉狩　田中位緒枝（豊原）
水面に山の彩り紅葉狩　田中清美（中島）
紅葉に急きたてられる旅心　廣松ヨシエ（蒲生）
温泉と紅葉求めて同窓会　野口美恵子（上宮永町）
雨降りの桜紅葉はあとわずか　梅崎三和子（田脇）
藩邸（やしき）の紅葉ひときは目立ちをり　髙崎登美雄（間）
海鼠壁行ったり来たり蔦（つた）紅葉　森永ちづる（七ツ家）
紅葉の落葉手にして子等遊び　萩尾法子（七ツ家）
主なき名残の庭の秋簾　森永孝英（七ツ家）
秋簾陽がしみとほる夕景色　池田美幸（佃町）
紅葉をひとりじめして写真とる　境　幸代（西浜武）
日に焼けし秋簾早や巻納め　重松秀秋（糀屋町）
朝夕に冷えて色ますもみじかな　中原田美子（百町）
秋すだれ峠の茶屋の店仕舞い　古賀　強（吉原）
日の沈むゆつたり揺れる秋簾　徳永エツ子（徳益）
背を押されよろめき歩む紅葉狩　龍　政人（間）
秋簾候文（そうろうぶん）の似合ふ家　谷　祥子（柳町）
風呂の窓目隠し兼ねた秋簾　大橋弘茂（百町）

【句評】障子張り替えの季節になれば、飴香（いこう）さんの〝浸（つ）け障子新しき色古りし色〟があります。飴香さんは旭町の大松下飴の次男であられた方で吟行（ぎんこう）が好きでした。俳号の読み方が分からず虚子先生がお聞きになったという話を紹介されたことがあります。
今月の幸子さんの句。菊池渓谷はまさにこの景。一つの発想が印象を楽しくさせてくれています。

◆選者の句
一枚はからげてありし秋簾　鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。12月の課題は**「木の葉髪」「菊」**です。入選作品は12月15日号に掲載します。
●**応募方法**　俳句と明記し、自作、未発表の作品（**※1人3句以内**）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、FAX74・5520）へ、**11月30日（※必着）**までにお送りください。